

職員による自己評価

児童への支援内容

個人面談や連絡帳で保護者様のご意見ご要望を伺い、支援計画に反映させている。
活動プログラムは企画担当を交代制にし、曜日別のターゲットを決める等、日毎に内容を変え、子どもたちが楽しんで通えるよう企画している。ご利用者様の年齢・人数・特性に応じて、個別対応・小グループ活動・全体活動と実施方法を変えることで、目的を意識した支援につなげている。活動後には、振り返りと検証を行っている。

関係機関との連携

養護学校との連絡調整は送迎時や FAX 等でできている。支援級は保護者の方経由で情報共有させていただいている。障害のないお子さんと活動を広げるため、地域のプレイパークに参加し、外遊びを通してプレイリーダーのもとで遊ぶ機会を設けている。

保護者への説明責任・信頼関係

個別相談や送迎時・電話・連絡帳等で随時対応している。メールや LINE を活用することで、ご家庭との連絡を密にとれるようにしている。ブログや活動報告でお子様の様子を発信している。今年度は初めて療育参観を2週間設け、実際の療育を親子で体験していただく機会となった。

非常対応

年2回、災害時を想定し利用者さんとともに広域避難場所である港南北公園までの避難訓練を実施。送迎中に被災する場合を想定し、各車両に全送迎範囲の防災マップとマニュアルを搭載している。

保護者による評価

児童への支援内容

支援計画は子どもや保護者の課題やニーズに則したものになっている。

発達について専門的なアドバイスを受けていると感じている。活動プログラムは、休校日の外出等、契約曜日でなくても追加利用したいと思う内容になっている。

微細運動の製作などは、新しいものや流行のものを取り入れつつ、子どもたちでも取り組みやすいような工夫をして提供されている。

対応は丁寧で、安心して託すことができていると思っている。子ども自身、学校に行くよりデイに行く方が楽しそうにしている。

事業所からの情報発信

日頃から連絡帳や電話で子どもの状況を伝えあっており、子どもの課題について共有できている。

毎月の活動報告で、素の表情や活動に取り組んでいる様子がよくわかり、子ども自身も楽しく振り返ることができている。

父母の会の活動や保護者会の開催がなく、他の保護者の方にお会いする機会がなかった。

非常対応

避難訓練は行っているようだが、緊急時対応マニュアルが周知徹底されているとは言えない。

事業所内での分析

【共通点】

- ・支援については、保護者の方と緊密に連絡を取り合い、課題やニーズに即したものを計画できている。その上で、外出、室内プログラムとも、工夫して実施できているというご意見を多く頂けた。
- ・関係機関との連携は、放課後児童クラブ・就学前関係機関・その他専門機関との間で課題が残る。
- ・活動報告で具体的な様子を発信することができ、保護者の方やご利用者様自身にもご好評をいただいている。
- ・訓練等の実施はしているが、マニュアルをホームページ上で開示するなど、保護者の方への周知徹底ができているとは言い難い。

【相違点】

- ・保護者の方を対象に療育参観を2週間実施したが、感染対策で一日の人数を制限して行った為、保護者様同士の連携を深めるところまでは行かなかった。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

小学校1年生から高校3年生まで通われており、それぞれのお子様、学校や地域を超えた、デイのお友だちとしてのかかわりを広げていっていらっしやいます。曜日ごとに違ったメンバーで活動内容も違うため、子どもたち自身が『今日は〇曜日だから、〇〇さんとこんな遊びをしよう!』と目的を持って集まってきてくれています。下の子は上の子を見本とし、上の子は下の子のお手本となるよう子どもたち自身で気付いて活動出来る場所でもあります。

職員は、児童の情報を共有できるよう毎日の朝昼礼で児童一人ひとりの特性やポイントをその日の活動に照らし合わせて確認しています。

活動は、皆で同じプログラムに取り組みながらも、個々が成功体験を積んで帰れるよう、個別に目標設定するようにしています。

月1回ご家族様に活動報告として利用中のご様子や外出先での様子を配布しています。通われている保護者様から楽しみにしています等のお声も頂いております。

事業所の改善点

就学前の受け入れ機関への訪問等を行えていない。

今年度もコロナの影響は続き、懇談会を実施できなかった。

緊急時対応マニュアルについて、保護者の方への説明が十分とは言えない。

避難訓練は現在半年に1回程度の実施となっており、確実に全児童が参加できるよう、回数を増やし全曜日で実施する。

防犯訓練をプログラムに取り入れる。

事業所の改善への取り組み

職員の入れ替わりの際、保護者の皆様へのご案内が確実にできているとは言えず、配布書類を通じてその都度ご紹介していきたいと思ひます。

また、子どもたちをよく知る職員が長くお子様を見守っていくためにも、安定して働けるよう、研修や業務改善を重ね、理解や定着に努めます。

就学前機関への訪問は、保護者の方にご了解をいただいた上で、支援の継続の為に行ってきたいと思ひます。

障害のない子どもたちとのかかわりについて、外出時やプレイパークへの参加等を通じて、積極的に輪を広げてまいります。

非常時の対応やマニュアルにつきましては、懇談会等を通して保護者の方にご説明していきたいと思ひます。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この度は、自己評価へのご協力ありがとうございました。

保護者の皆様から頂きましたご意見を、事業所内で共有し改善しながら、より良いサービスの提供に努めて参ります。

ハートリンクを楽しみに来て下さる児童の成長に少しでも関われることを嬉しく思ひます。

これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

事業所名：ハートリンク港南台

担当者：藤本 みち